

質問 先の統一地方選挙の結果を踏まえ、来る8月の町議会議員選挙の投票率は、向上の手立てや考えは。



高瀬 勉 議員

答弁 総務課長 選挙日を8月9日とし、県知事選挙と同日としました。これにより、有権者の関心も高まり、相乗効果により投票率のアップが期待できると考えます。また、県選挙管理委員会が行なう各種の啓発事業に加え、町は広報及びホームページへの掲載・「明るい選挙」の全世帯配布・庁舎へ懸垂幕の掲出・防

質問 選挙権の年齢引き下げ6を受けて、早い時期から選挙の意義・仕組み等の理解を深める教育が必要になる。その一端を担うであろう子ども議会の必要性と開催に向けた考えは。



平成5年に開催された小川町子ども議会

よう、各校や学年に応じた選挙の意義・仕組み等の理解を深める教育が今日、求められています。学校や教室の場を離れ、実際の議会の雰囲気や環境下で、身近な事柄について討議・協議する体験は、貴重な学習経験につながると考えます。したがって、来年度以降でできるだけ早い段階で開催できるよう準備に取りかかりたいと考えています。

6 70年ぶりの改正で、現行の20歳以上から18歳以上に引き下げられます。来夏の参院選から実施し、新たに高校生を含む約240万人が有権者に加わります。

政治をもっと身近に！

体験学習 子ども議会開催は 開催に向けて準備にとりかかります



町政をただす

一般質問とは、議員が町の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。今議会では、9人の議員が一般質問を行ないました。



視察をふまえての調査研究報告

調査研究テーマ

平成26年11月5日(水)～6日(木)

人口減少及び少子高齢社会に対する取り組み

長野県川上村3、群馬県上野村4・南牧村5を視察（今回の視察研修は、全委員会合同で行ないました）

人口減少及び少子高齢社会に立ち向かう取り組みをテーマに、3自治体における総合的な村づくりに資する施策について、3委員会合同で調査研究をしました。

どの自治体も減少が加速度的に進行し、地域経済への影響が懸念される中、地域の特性に即した効果的な取り組みを進めている状況が確認できました。

村づくりにかける思いと手法はさまざまです。特に川上村では、特色ある「村づくり」と特産品を見出し、活性化を推奨し実現しています。

また、首長の行政手腕・探究心・行動力は大いに見習うべきです。具体的には、定住促進をはじめ、雇用の創出や郷土愛にあふれる若者の結集を不可欠としています。当町もこれまでさまざまな計画は立てたものの、実現に乏しいものがあります。

町の魅力を再検証してアイデアを結集し、所管のみならず、横断的体制の姿勢を臨むものです。限られた財源を効率よく配分し、次世代への投資を惜しまず、他に類を見ない独自の人口減少と少子高齢対策の推進を希望するものです。



川上村庁舎玄関前

どんな制度が用意されている？

3 全村下水道整備、全戸村営テレビ導入、24時間オープン図書館、村営のほり診療所、不妊治療補助、高校卒業まで医療費の無料化など

4 定住対策（雇用・村営住宅整備、生活支援の提供）子育て支援（誕生祝い金・入学祝い金・養育手当支給、高校卒業まで医療費を無料）など

5 結婚祝い金、出産祝い金、保育料全額免除、学校給食費全額免除、通学補助、子育て世代転入奨励金、新築・増改築費補助、空き家活用の定住促進など

議員活動、こんなこともしています

七夕まつり 平成27年7月25日～26日

「北関東一を誇る竹飾り」と称される、当町の七夕まつり。

しかし、その数は年々減少傾向にあり、たびたび議会でも対策等が取り上げられています。議会は、まつりを盛り上げようと、平成24年度（第64回）から竹飾りコンクール（受賞対象外）に参加しています。

また、マスコットキャラクターの星夢ちゃんをはじめ、近隣町村のゆるキャラたちによるジャンケン大会等のイベントを企画し、好評をいただいています。



寄居北條まつり 平成27年5月10日

ホンダの進出が縁で、寄居町議会の皆さんと年に1度、交流・懇親会を開催しています。

とし、節目の10回を数えた会場で、新たな試みとして、お互いの町が有するお祭りに参加することになりました。

去る5月10日、盛大に開催された寄居北條まつり。



ユネスコ無形文化遺産登録を記念し、「細川紙甲冑隊」の名で、東秩父村議会の皆さんとともに参加してきました。

